

はぐくむ光のびる若芽

237

関 椎名 圭子

私は、主人と二人の息子、そして主人の両親の6人で暮らしています。

現在、私は仕事をしており、普段は、主人の両親に子供たちの面倒を見てもらっている状況です。

主人の両親は二人とも優しく、子供たちをかわいがってくれるので、私もそれに甘えてしまっています。

「感謝すると同時に反省しなくてはいけない」と思っています。しかし、息子たちにとって

「親」だけでは教えられない体験をさせてくれ、また人を思いやる気持ちを育ててくれる…そう思えるからです。

主人については、仕事が忙しいとは思いますが、早く帰宅した日には息子たちと一緒に風呂に入り、そこでする男同士の会話を楽しんでいるように見えます。また、キャッ

とボールや釣りをしたり、限られた時間の中で息子たちとできるだけ「コミュニケーション」をとるよう心がけてくれています。

長男の亮介は、現在小学校の2年生。少し痩せているのが気になりますが、これまで大きな病気もなく、二匹に育ててきました。性格は、穏やかで、おっとりしています。

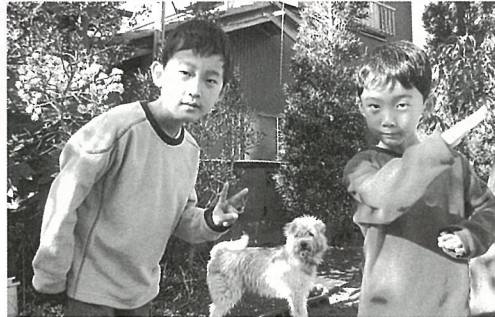
次男の俊貴は保育園の年長さん。長男と同じく恥ずかしがり屋ですが、ユニークな言動で家族を楽しませてくれます。また、泣き虫で、自分がついに決めた譲らない頑固なところもあるようです。だから泣くのでしょ…。

二人が大人になる頃、未来はどのように変化しているのでしょうか？ 平気で人を傷つけたり、簡単に自分で自分の命を落としたり、そんな辛いコー

スをよく耳にします。けれども、息子たちには、

今を大切に精一杯生きて欲しい。そして、優しい心と強い意志を持った大人になれるよう、家族全員で時には厳しく、そして温かく見守っていきたいと思います。太陽に向かってのびゆく若芽、それをほぐくむ光のよ…。

優しい心と強い意志を…



二人が大人になる頃、未来はどのように変化しているのでしょうか？ 平気で人を傷つけたり、簡単に自分で自分の命を落としたり、そんな辛いコー

今月の顔 シリーズ 69



大木としさん (88歳)
(関)

長寿の秘訣

高齢だというのに食事、洗濯、掃除と一人で何でもこなしている元気なおばあちゃんがいて紹介があり、話を伺いましたのでご紹介します。

◎元気のもととは？

88歳で自分のことは何でもこなす大木さんの元気のもととはどこにあるのか、探ってみようと楽しみで出かけました。

最初にお会いした時どこにそんな力があるのかなと思うくらい、一見普通の方でした。「元気のもとは。」と何うと「農村のおいしい空気・気の合った友達との楽しいおしゃべり・食べたものを食べて自分の好き

なことをやって、イライラしないでいることかな。」との答えが返ってきました。「なるほど」と感じしました。仕事に追われる今日ですが、「自分の健康は自分で守らなければ」と思いました。

◎魚料理の多い食卓

70歳過ぎまで、春から夏は地引網の手伝いをされ、獲った魚を貰ってきてはよく料理されたそうです。「肉より食卓に上がる回数が多かったよ。」と、笑って話されました。

今も一人で近くの店まで買い物に出かけ、自分で調理して食べているそうです。好き嫌いなく何でも食べることや、今までの魚中心の食生活が骨を丈夫にし、長生きの秘訣になっているのかもしれないね。

◎自分のことは自分でやる

毎朝7時に起き朝食のしただけに始まって掃除・洗濯をこなし、天気の良い日は前の畑で落花生・いもなどの野菜を作り、近所の友達や東京の子供たちに送るのが楽しみとのことでした。また、少しづらいの風邪なら、自分で循環バスを利用して町内の医院にかかるそうです。家族の方が仕事のため昼間一人であるためでしょうが、88歳とは思えないほど自立されていました。

◎これから気をつけることは？

「これから気をつけることは何ですか？」と伺ったところ、「体に痛いところもなく元気にやれることかな。これからは健康で毎日を送れるようにすること。体さえ丈夫なら何でもできるから。」と、すごい意欲が感じられました。「お嫁さんがあと半年で仕事を辞めるのでそれまではがんばらないと。」と、楽しみにされていました。

大木さん、寒さはまだまだ続きますので風邪などひかないよう気をつけてください。

(看護師 栗田)